



こころの中をみつめよう 博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity

.....国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB

## CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27  
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:庄瀬 寛 幹事:橋本 豊 会報委員長:北山陽一

### 2011年7月26日 第1007回例会(第1006号)

#### ○○ 本日の例会 ○○

- 今週の歌 「それでこそロータリー」
- 「クラブ協議会」
- ニコニコキャンプ実施に向けて

#### ○○ 次回例会のお知らせ(8月9日) ○○

- 卓話 「1年を振り返って」
- 水谷 善博 直前会長
- 延秀恵 直前幹事

#### 本日の会長の時間

「タワーマンション」 庄瀬会長  
16年前の阪神大震災で、超高層建築物そのものはピクともしませんでした。地震のときに超高層は大きく長く揺れるので家具が吹っ飛んでくる危険性がありますが、建物そのものは安全丈夫です。しかし設備の面では問題が多く、電気が止まれば揚水ポンプが停止して水が出ません。水洗トイレも使えません。オール電化にはガスがないので火も暖房もありません。エレベーターも止まり50階から階段の使用になります。緊急の仮設のトイレはすべて1階に置いてあり、水の運搬やトイレの度に50階まで階段の往復です。もし被災地での長期の屋内生活となれば、電気が止まった50階での屋内生活を覚悟しなければなりません。それは戸建ての住宅とは全く異なる状況です。また食料品の買占めもあったようです。ただ被災地の方々を思いながらも自分の家族を考えれば万一の時に備えて買わざるを得ないのが人情です。今回の地震と停電の経験をきっかけに、世間で言われているような「ステータスな住宅」であったタワーマンションへの評価も変わるでしょう。

#### 出席報告

成松 委員長

#### 【7月19日】

在籍会員 39名 (内出席規定適用免除者 9名)  
出席会員 31名 (内出席規定適用免除者 5名)  
ホームクラブ出席率 88.57%

6月28日のMUを含む出席率 94.59%

#### 前回(7月19日)例会記録

#### 来客

依田 悠介君

(2010~11年度 国際親善奨学生)

#### 幹事報告

橋本 幹事

第1回GSEスリランカチーム受け入れ会議の案内  
日時: 7月26日(火) 午後6時 開会  
場所: ホテル阪急エキスポパーク  
渡辺ロータリー財団委員長よろしくお願い致します。

#### ニコニコ箱

延会員 有り難うございました! なでしこジャパンのようにあきらめない...。

大森会員 お誕生日のお花有り難うございました。

和田会員 例会欠席のお詫び。

本日分 11,000円 累計 193,000円

#### 関西大学RAC例会出席担当

8月8日(月)・22日(月)

Bグループ 西本、八橋、今村、杉本  
赤尾各会員

会場: 中央体育館 図書資料室

時間: 19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 卓話

### 「帰国報告」

2010~11年度ロータリー国際親善奨学生

依田 悠介 君



吹田江坂ロータリークラブ推薦2010 - 2011年度ロータリ国際親善奨学生として、米国University of Pennsylvania (UPenn) に2010年9月より2011年6月まで留学いたしました。

米国滞在中はVisiting Scholarとして、言語学科に在籍し、大学院の授業に出席し、世界の第一線の教授陣 / 学生陣に囲まれ、日本とは異なる環境で研究を進めて参りました。UPennは、アメリカの大学では、Ivy leagueの一校として最古の大学の一つに数えられ、教育水準・研究水準が非常に高い事で知られています。UPennで、研究に着手できた事、UPennの学生と共同研究が出来た事、また、日本とは異なる自由な雰囲気で研究が出来た事は研究者としてかけがえの無い財産となりました。

また、滞在中は生活面、精神面の両面で第7450地区的皆様にお世話になりました。特に第7450地区のホストカウンセラーであるホフマン先生、及び、奨学金担当で、アシスタントガバナーであるワシントン氏にも大変お世話になりました。この場を借りまして御礼申し上げます。

UPennのあるPhiladelphiaは、アメリカ最古の都市で、ヨーロッパからの最初の入植した街であり、アメリカ最初の首都が置かれた街です。街の中には、アメリカの歴史に於いて、重要な史跡が多数有ります。また、Philadelphia museum of Artもアメリカ国内では、非常に有名なmuseumとして知られています。このような歴史的 / 文化的に重要な街で過ごせた事は、自身の人生および歴史的観点という面に大きな影響をあたえてくれたと信じています。

このアメリカへの滞在は今まで国内で自分が「知識」として知っていた「アメリカ」という国のイメージを大きく変える物となり、自分自身のアメリカへ

の見識を大きく（良い意味でも悪い意味でも）変えきっかけとなりました。

末尾になりますが、このような貴重な機会をいただけた事を、吹田江坂ロータリークラブの皆様、特にカウンセラーの西上様、第2660地区のロータリアンの皆様、そして、第7450地区のロータリアンの皆様、UPennの教授陣 / 友人達、日本で支えてくれた先生方 / 友人達、そして、最期に海外留学に快く送り出してくれた家族に感謝しております。

### 「新年度挨拶」 橋本 豊幹事

本年度幹事をさせて頂きます、橋本です。宜しくお願ひ致します。

入会は杉本会長・赤尾幹事のとき2006年の夏の家族会で入会させて頂きました。それから早5年が過ぎました。入会当初は欠席が多く、欠席が多いもんですから会員さんとの交流も出来ず、それでまた面白くないからという風に欠席してしまうと言う、幽霊会員みたいなもんで、言われるから仕方がないからロータリーに出席すると言う感じでもありました。

それから数年、幹事のお誘いを受けた日は覚えては無いのですが、ちょうど名古屋へ出張していた時、見知らぬ電話番号で掛かってきたのが、庄瀬さんでした。それまで庄瀬会長とは例会時にお話をさせて頂いたりはしていましたが、それほど親しくさせて頂いては無かったので、電話を頂いたことに驚きました。それでストレートに「自分が会長のときに幹事をしてくれないか」と言われ、びっくりでした。自分が…って感じで、「自分で良いんですか」と聞きなされて、迷いは有りましたが「はい喜んで」の精神でお受けさせて頂きました。

今年度は庄瀬会長方針の中でも親睦を中心とと言う事なので、特にメンバー間の親睦を大切にしたいと思います。

幹事職として分からぬことばかりで、諸先輩にご指導を受けながら、全会員皆様と事務局の濱谷さんの絶大なるご協力を頂き、無事1年全うしたいと思います。

本年度庄瀬会長の下、2011 - 2012年度が最高に素晴らしい楽しいロータリーとなります様、頑張って参りますので、何卒宜しくお願ひ致します。